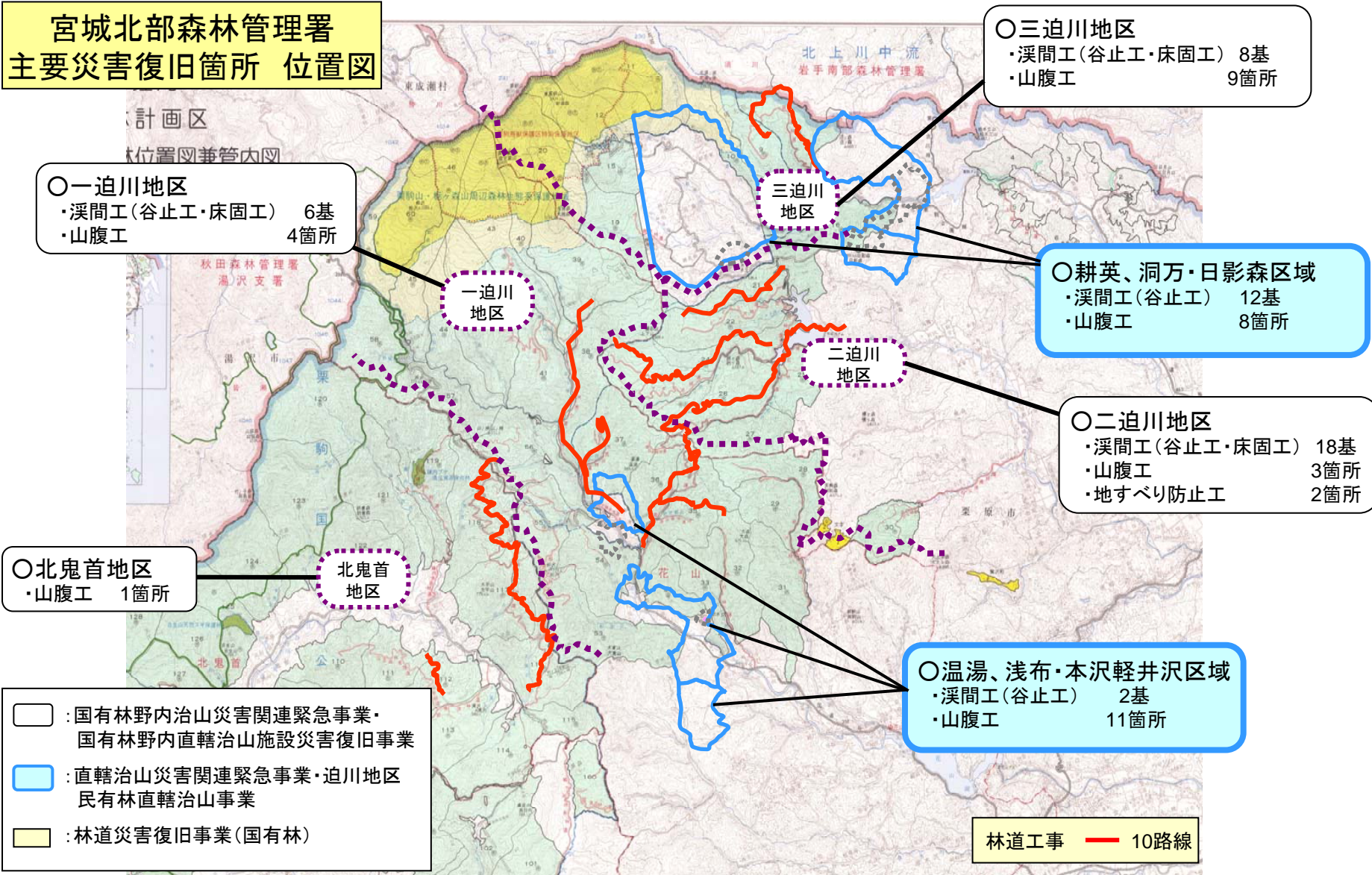


平成21年度末までに国有林治山事業で溪間工32基、山腹工17箇所、民有林直轄治山事業で溪間工14基、山腹工19箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。

## 宮城北部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



○一迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 6基  
・山腹工 4箇所

○三迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 8基  
・山腹工 9箇所

○耕英、洞万・日影森区域  
・溪間工(谷止工) 12基  
・山腹工 8箇所

○二迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 18基  
・山腹工 3箇所  
・地すべり防止工 2箇所

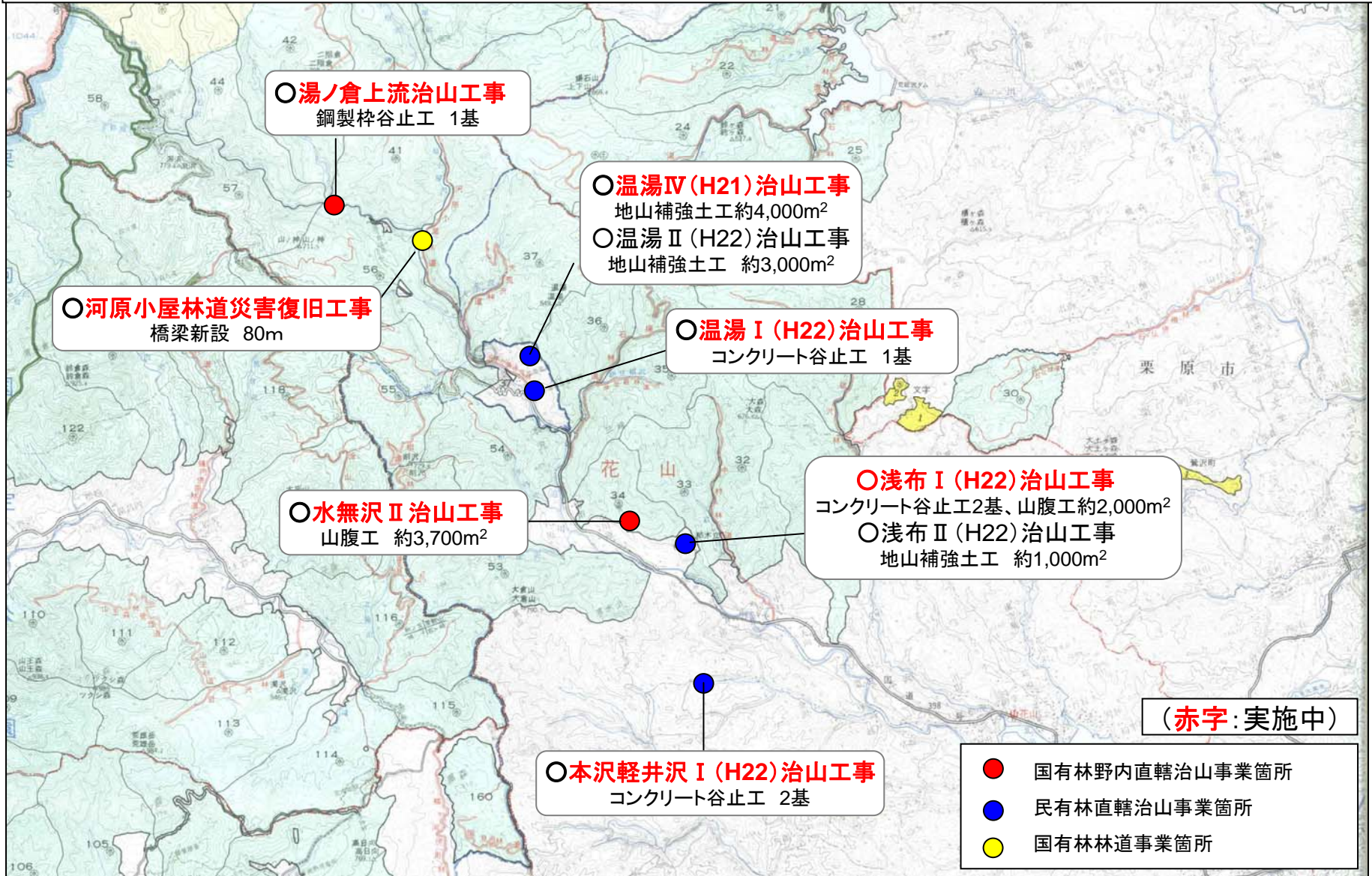
○北鬼首地区  
・山腹工 1箇所

○温湯、浅布・本沢軽井沢区域  
・溪間工(谷止工) 2基  
・山腹工 11箇所

□ : 国有林野内治山災害関連緊急事業・国有林野内直轄治山施設災害復旧事業  
 □ : 直轄治山災害関連緊急事業・迫川地区民有林直轄治山事業  
 □ : 林道災害復旧事業(国有林)

林道工事 — 10路線

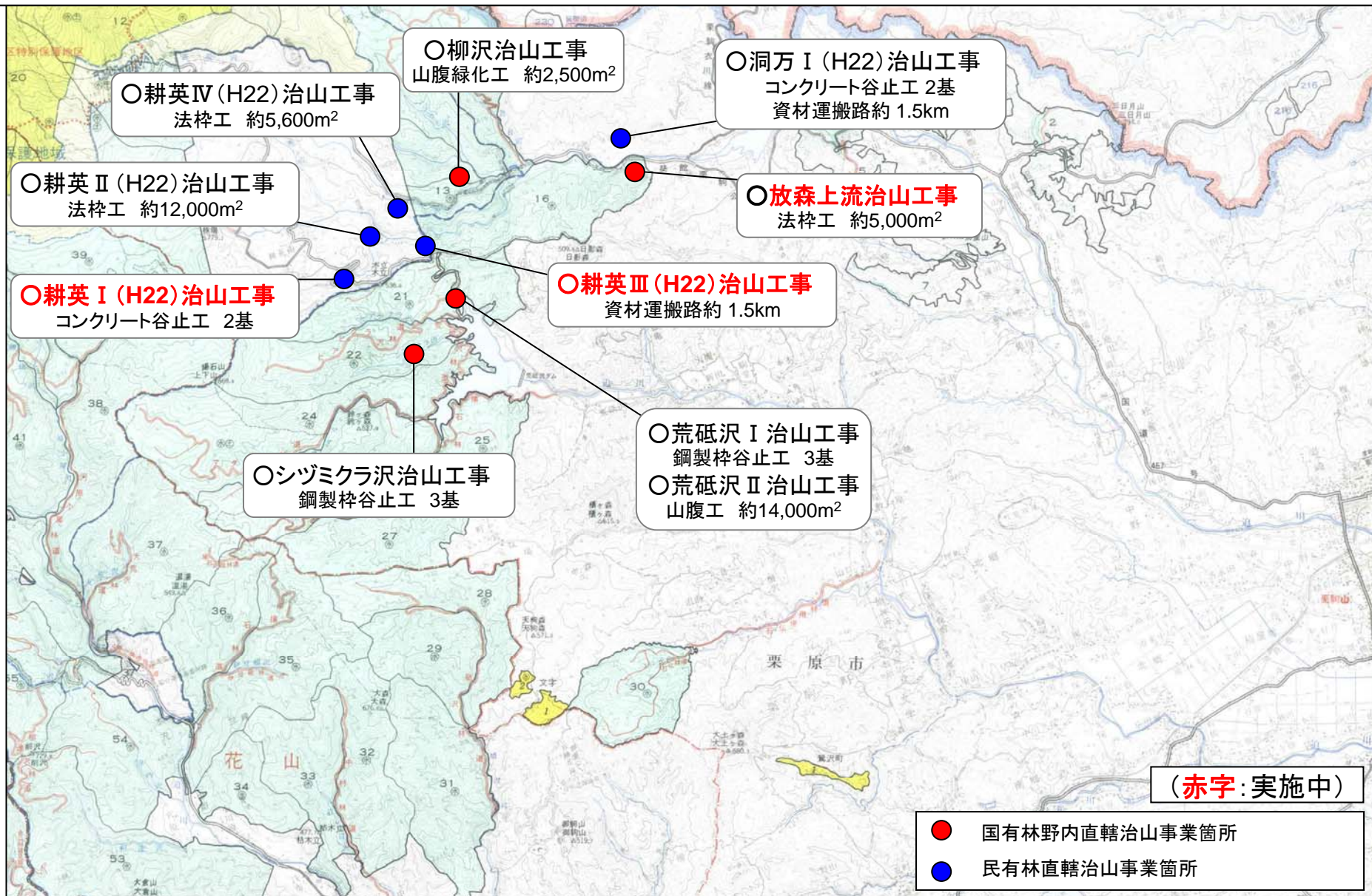
平成22年度は、一迫川地区において、国有林治山事業で溪間工1基、山腹工1箇所、民有林直轄治山事業で溪間工5基、山腹工4箇所、国有林林道事業で林道1路線を整備します。



# 宮城県内の対策概況③(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)

平成22年8月6日現在

平成22年度は、二迫川地区、三迫川地区において、国有林治山事業で溪間工6基、山腹工3箇所、民有林直轄治山事業で溪間工4基、山腹工2箇所を整備します。



被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

三迫川地区のドゾウ沢で土石流の被害を防ぐために、駒ノ湯温泉跡の上流に治山ダムを設置しました。



INSEM鋼製谷止工 平成21年10月完成



平成20年6月

被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

震災によって荒廃した溪流において溪床を安定させ溪岸浸食を防ぐ谷止工などにより、復旧対策を進めています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】

(一迫川地区 温湯)

(平成22年8月4日)



コンクリート谷止工の新設のため掘削しました

(一迫川地区 湯ノ倉上流)

平成22年度秋完成予定  
(昨年からの継続工事)



鋼製樁谷止工施工箇所



一迫川上流 川原小屋沢の荒廃状況  
(平成22年6月8日)

被災地の復旧状況(山腹工)

【工事概況】

一迫川地区の花山浅布で発生した大規模な山腹崩壊の復旧が完了し、緑化が進んでいます。

【 岩手・宮城内陸地震の発生当日 】



平成20年6月14日

【 現在 】



平成22年6月8日

被災地の復旧状況(山腹工)

【工事概況】

震災によって荒廃した斜面の安定を図る山腹工を行っています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】

(一迫川地区 温湯)

(平成22年7月27日)



森林を残したままで、斜面の崩壊を防止する  
地山補強土工を行っています



工事の品質を保つため検査・立会を行っています

(二迫川地区 荒砥沢地すべり)



不安定な崖の上部の土(37万m<sup>3</sup>)を取り除きました (平成22年8月4日)



工事前 (平成21年11月4日)



工事完成 (平成22年8月4日)

林道の復旧事業

【工事概況】

河原小屋林道について、橋梁工などにより復旧対策を進めています。

【平成22年度の工事箇所】

(河原小屋林道)

(平成22年8月2日)



新しい橋をかけています



製作工場では橋げたを仮組みしました

【平成21年度までに復旧した林道】

(岩ノ目沢林道)



(ヒアヒクラ林道)





## 復旧対策実施組織と事業



荒砥沢地区 (空撮) (平成22年6月8日)

- ・平成20年9月1日に宮城北部森林管理署に宮城山地災害復旧対策室を設置しました。
- ・平成21年度から迫川地区(耕英、洞万・日影森、温湯、浅布・本沢軽井沢)の民有林を対象に、民有林直轄治山事業を新規着手しました。
- ・平成21年4月1日に国有林直轄治山事業を担当する栗原治山事業所と、民有林直轄治山事業を担当する迫川治山事業所を新設しました。
- ・平成22年6月8日に、ヘリコプターにより現況調査を行いました。  
特段の異状は確認されませんでした。



宮城山地災害復旧対策室

## 岩手・宮城内陸地震に係る検討会の開催

「第1回栗駒山麓崩壊地・景観活用検討委員会」  
栗原市主催(平成22年5月24日)

- ・平成20年12月20日まで開催した山地災害対策検討会において、岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画をとりまとめました。  
※山地災害対策検討会の報告書等については、東北森林管理局のホームページ(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigajoho/kyoku/kentokai/hokokusho.html>)をご覧ください。
- ・平成22年1月20日まで開催した「岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべりにより出現した地形・景観の活用に関する検討会」において、荒砥沢地すべりの対策や今後の活用など総合的な検討を行いました。  
※検討会の議事概要等については、東北森林管理局のホームページ(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigajoho/kyoku/kentokai/jisuberkentou.html>)をご覧ください。
- ・栗原市主催の「栗駒山麓崩壊地・景観活用検討委員会」に宮城北部森林管理署長が委員として出席しています。平成22年7月30日に第2回委員会が開催されました。